

# 至仏山

△ミT沢  
ワル沢

(兼 新人感想)

'87.5.3(日)~5.5(火)

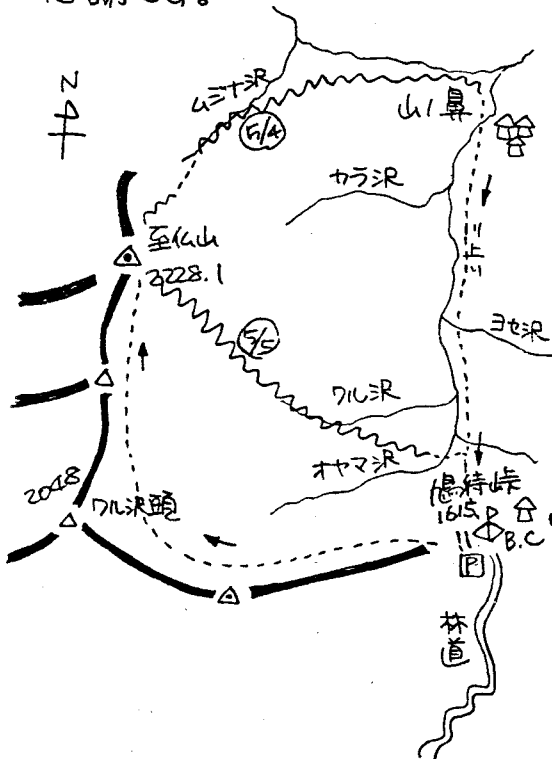
☐ 天気: ☀ ☐

L. 小森宮秀昭, 田村高太

石塚真知子, 松浦崇夫, 沖山清光, 森正弘 6名

お初にお目にかかります。会員ナンバー 53 の森正弘と申します。YSDに入会してさあがんばろうと意気込んでたさもうシーズンが終わりしてしまったので、抽子扱ひの感が強いのですが、私は夏、紫外線の強いあいだに ERASE せしめよう EPROM DATA の様は会員にはなりません。(たぶん) 夏の山行にも積極的に参加していきたく思いますので、未長くお付き合いの程よろしくお願ひします。

さて、中心のSKIの方はどうだったかという、普段の行ないの良い人が多かったのだし、気分爽やか 5月晴れが 4日、5日と続いてくれました。小森宮さんのリーダーシップのお蔭もあり、楽しいTOURとなりました。皆に感謝です。



4日企画会の投階では燃や虫にも足を伸ばして... という計画でしたが、3日は皆様ご存知の通りの荒れ模様でした。TVのお天気お姉さんの「お出掛けには傘を忘れないようにして下さいね!」の言葉と笑顔を信じて良かった事です。で、快晴を期待して3日の夜上野を出発。ところが沼田で降りると小雨。戸倉辺りをTAXIで通過するころには吹雪いてきて、徳待でリフトにもどり込んだ後もバタバタと煽る音がやましく、しばし

の仮眠後 見た蒼い空と、北西に筆子逆さスリパチに、巾が目を疑いました。私に1~2年すっかり雨や雪男でして、山の中で青空を拝めるなんて久しぶりのことだったんです。その後高気圧は私達にフレッシュな日差し、程よい涼風を与え続け、越後・日光の山々の広大な景観と共にこれぞまさに春山というシチュエーションをもたらしてくれました。水分の多いガラク雪に覆われた平均10度の斜面でニールの威力を初めて知り（%天神平ではご迷惑をおかけしてすみません...）山での行動範囲が広がります。

初日のムジ沢は、J頂上を少し下った所の岩稜帯を抜けると、緩やかに素敵な斜面が広がっているかと思ったら！雪が少なくて、ちょっと飛ばしたらすぐに樹林を縫う滑りとなってしまいました。それだけでなくスキーが下手くそな私に、板が新しいとすれば満足な行動なんかとれやしません。ポール競技の気持ちでどうにかついて行き、無事山ノ鼻へ到着。二日目ワル沢では奥に気持ちの良い斜面を堪能しました。それでも下部ではルートの堅定が上手いかず引き直したり、あちこち迷ったりしてしまいました。こういうのはやはり経験と勘なんだろうね。

かくして、13時鳩待務のバスで至仏を後にしました。——

それにしても5月の尾瀬はにぎやかです。アルペンスキーヤーをはじめクロカンスキーヤー、テシマーカー、フツの登山者、もちろん山スキーヤーもいました。観光客にしてもガラクも持たないのにゴテゴテと着込んでるやつもいっぱい、サマージャツに細目のネラタイ、テグタイズブランドのスラックスにローファーで来てるのもいます。尾瀬に来たのは初めてだったんですが、その落差は上高地以上ですね。今度は寮の仲間と、おしゃれな服に身を固めて再び訪れるのも面白いかなと思っています。

'87.5.26 AM 1:03 記) 森